

## ごあいさつ

市民の皆様、後援会の皆様には、日頃から中島りゅうじの活動に対しまして、ご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

豊田市議会議員に就任してから、2年経ちました。

公約の一つである「豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」いわゆる手話言語及びコミュニケーション条例（詳細は後述）が今年の3月に制定され、4月より施行されました。

障がいのある当事者としては大変意義のある条例ではありますが、何よりも重要なのは実効性のある取り組みだと思います。

今後も1日1日を大事にしながら、常に感謝の気持ちを忘れずに、市民の皆様のために、市政改革・議会改革に取り組んでまいります。

また、豊田市議会における会派につきましては「心が聴こえる市政の会」という、政党や自治区の推薦・支援を一切受けずに当選した無所属1人会派として、障がいの有無にかかわらずすべての市民の心の声を聴き、「市民第一」として市政に取り組み、日本一バリアフリーなまちづくり・豊田市を目指して活動してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。



耳が不自由です

### なかじま 竜二 プロフィール

- 1988年7月7日 豊田市生まれ
- 生まれつき耳が聞こえない
- 愛知県立岡崎聾学校  
乳幼児相談～高等部まで約16年間在籍
- 愛知淑徳大学文学部教育学科卒業
- 株式会社デンソー入社
- 心が聴こえる市政の実現をめざし退社
- 2019年 豊田市議会議員選挙 当選

## 3月定例会

2月19日(金)～3月18日(土)の28日間

慎重に審査した結果、  
上程された議案や同意案件については全て賛成といたしました。  
一般質問は持ち時間がなため、3月定例会では実施ませんでした。

## 手話言語及びコミュニケーション条例が 制定・施行されました!

制定前に定例会で議案質疑を行いました。



令和3年4月1日(木)に施行

### 「地域共生社会の実現に向けた 相互理解の促進及び 意思疎通の円滑化に関する条例」



詳しい内容は  
こちら!  
パンフレットが  
ご覧いただけます。



### Q.質問 条例制定の必要性と期待する効果は?

**A.答弁** 豊田市は多様性に富んだ市民が暮らすまちであり、誰もが安心して自分らしく生きられる「地域共生社会の実現」を目指しており、加えて「誰一人取り残さない」を基本理念とするSDGs未来都市となっている。地域共生社会の実現に必要な「相互理解」と「意思疎通」の重要性が今後さらに高まってくることから、本条例を制定することとした。

期待する効果は、これまでに進めてきた共働によるまちづくりや、さらにはSDGsの理念を実現していくための取組が一層加速され、「地域共生社会の実現」に寄与することと考える。

### Q.質問 条例の推進体制は?

**A.答弁** これまでは障がい福祉課をはじめとして、「外国人」、「高齢者」、「子ども」を所管する関係課を中心に条例の検討を進めてきた。条例制定後は、全庁で推進していく必要があることから、組織横断的な体制をつくって進めていきたいと考える。

### Q.質問 周知方法は?

**A.答弁** 市民の共感を得てまちぐるみで取り組む必要があるため、周知・啓発活動が大変重要だと考えている。具体的な取組としては、地域や学校、イベントなどで、配慮が必要な当事者等とともに、現場に向いて条例の必要性や意義などを伝えていきたいと考える。また、手話や音訳等の体験講座、国際理解セミナー、認知症サポーター養成講座なども活用し、条例の周知・啓発を積極的に行っていく。

## SDGs

SDGsとは2015年の「国連持続可能な開発サミット」において正式に採択された国際的な開発目標のことです。

貧困の撲滅や気候変動対策といった、世界の国々が解決すべき課題に関する17の目標と169のターゲットがあります。詳しくは

